

認知症に関する活動計画（概要）

栃木県作業療法士会では、「地域リハビリテーション推進部・認知症ケア対策推進部門」として「研修事業」を中心に活動している。活動の主な目的は認知症ケアに携わる人材の育成。内容としては、認知症アップデート研修会の他、アップデート研修を受講した方を対象に認知症応用研修会の実施。また、啓発事業としての「RUN伴」への運営面での参加も毎年行っているが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響のため、各活動が十分におこなえていない。

研修事業・COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

H28年度から認知症アップデート研修を開催。年2回県北地域、県央地域で1回ずつ実施している。また、R1年度はアップデート研修を受講した方を対象に認知症応用研修会を実施した。R2年度は県南地域での研修会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響があり、アップデート研修会は中止。認知症部門単独ではなく、地域包括ケア・介護予防推進部門との共同開催という形で介護予防分野における認知症予防についてのZOOM研修会を実施した。今年度はアップデート研修会（ZOOM）の開催やアンケートの実施を予定。



認知症の人と家族の会との連携事業

R2年2月にはアップデート研修を受講した方を対象に認知症応用研修会を実施。認知症の人と家族の会や行政からも講師を派遣して頂き、より他機関との連携等も視野に入れた研修内容とした。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修会を通しての連携事業は行わなかったが、今年度は応用研修会講師協力等で連携を図っていきたいと考えている。



認知症啓発事業

RUN伴2019に県士会として後援。県士会認知症ケア対策推進委員がエリア長・副エリア長として運営に参加。

RUN伴2020は新型コロナウイルス感染症の影響の為に全国的に中止となったが、SNSを利用して認知症の方にエールを送る活動を県内実行委員を中心に行なった。2021年度も昨年同様県内実行委員を中心に活動を継続している。

